

## 平成28年度第1回平川市総合教育会議議事録

1 日 時 平成29年1月27日（金）午後2時30分～午後3時45分

2 場 所 平川市役所3階応接室

3 出席者

(1) 市長 長尾 忠行

(2) 教育委員

委員長 内山 浩子

委員長職務代理者 工藤 甚三

委員 佐々木 幸子

委員 葛西 万博

委員 駒井 優子

委員（教育長） 柴田 正人

4 事務局

(1) 教育委員会

事務局長 小林 留美子

学校教育課長 大湯 幸男

学校教育課長補佐 浅原 勉

指導課長 鳥山 喜代志

(2) 総務部

総務部長 齋藤 久世志

総務課長 西谷 司

5 会議の次第

(1) 開会

(2) 市長挨拶

(3) 議事

- ・碓ヶ関小中学校併置とすることについて
- ・碓ヶ関小中学校の敷地の選定について

(4) 閉会

6 会議の概要

総務課長 　　ただいまから第1回平川市総合教育会議を開催させていただきます。会議に先立ちまして、長尾市長よりご挨拶を申し上げます。

市長 　　本日はご多忙の中、第1回平川市総合教育会議にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

　　また、内山教育委員長をはじめ、教育委員の皆様におかれましては日頃より本市の未来を担う子ども達の教育、そしてまた市民の生涯学習振興に対しましてご尽力をいただいておりますことに御礼を申し上げます。

　　本日の案件は、碓ヶ関小中学校併置とすることについてと、碓ヶ関小中学校の敷地の選定についての二点であります。皆さまもご承知の通り、市内小中学校の老朽化が著しい学校については、財政的に有利な財源を活用して、改築あるいは大規模改修工事を年次計画として進めることとしております。碓ヶ関小学校につきましても築38年を経過していることから、老朽化対策はもとより、児童数が年々減少する中で、複式学級への対応など、学校整備の方向づくりに検討を重ねて参りました。

　　庁内関係課による調整会議におきまして、小中学校を併置する旨の方向付けをいたしましたので、そこでの検討内容について、教育委員会とコンセンサスを得たいと考えております。どうか地域の子供達にとってより良い教育環境を整えて参りたいと考えておりますので、皆様と活発な意見交換が出来ますことをお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

総務課長 　　それでは、平川市総合教育会議運営要綱第4条第3項において「会議の議長は、市長をもって充てる。」とありますので、ここからの進行は、長尾市長にお願いいたします。

市長 　　それでは、これより議事を進行させていただきます。先ほども申し上げましたが、碓ヶ関小中学校併置とすることについてと碓ヶ関小中学校の敷地の選定についてを案件とします。教育委員会より招集を求められました。私も本件は市全体で検討すべき案件であると思い、本日の会議を招集させていただきました。皆さまのご協力を得まして、円滑に議事を進行し、より良き方向性となるよう調整して参りたいと思いますのでよろしく願いいたします。

　　まず、議事1の碓ヶ関小中学校併置とすることについて事務局より説明を願います。

学校教育課長 　　学校教育課の大湯と申します。よろしく願いします。委員の皆様方には、本日足元の悪い中お集まりいただきまして、ありがとうございました。まず、議事1の碓ヶ関小中学校併置とすることについてであります。

　　碓ヶ関地域の人口推移、児童生徒数の推移、小中学校校舎の現状、公共施設の現状及び事業費等を考慮し、校舎の整備については現碓ヶ関中学校を大規模改修しながら、碓ヶ関小学校を新たに併設して整備する小中併置校としての整備を進めていきたいということにしました。その理由、根拠を7つ挙げましたのでご説明いたします。

まずは1点目です。これまでの経緯をご説明します。平成28年5月18日に碓ヶ関地域教育の方向性について意見交換会を開催しました。案件は①碓ヶ関地域の状況について、②校舎の現状について、③碓ヶ関小中学校のあり方について、④複式学級についての4項目を案件に話し合いをしました。

地元の市議会議員が2名、小中学校PTAの会長、小中学校の校長、教頭、碓ヶ関総合支所長、教育委員会事務局で意見交換会を開催しました。

他にも、10月5日、11月30日、12月21日と3回ほど関係機関と会議を開催しました。これは、我々、教育委員会の方で碓ヶ関小中学校のあり方を検討した中において、碓ヶ関総合支所の移転改修というのも同時進行という形で進んでおりました。しかしながら、各関係課で中々調整が図れていないということから、企画財政課で招集して開催した会議となります。

続きまして2点目です。平成27年12月議会で、山口金光議員の一般質問の「学校統合等市立学校の将来問題」についての質問に対し、長尾市長が児童・生徒数の今後の見通しを考えた時、児童数の減少により、複式学級や小中併置を検討しなければならないことが想定されると答弁しております。

また、平成28年12月議会の中でも、山田忠利議員の一般質問「碓ヶ関小学校の今後について」の質問に対し、柴田教育長が、児童・生徒の学びの場として早急な改修が必要であり今後の児童・生徒数を十分考慮し、碓ヶ関中学校との併置を想定した計画で進めていきたいと答弁しているということであげました。

3点目は碓ヶ関地域の人口推移等の現状ということであります。

碓ヶ関地域は、合併以前から教育に関心が高い地域であります。近年は人口減少及び少子化が進むとともに、今後も児童生徒数の増加は見込めない状況にあります。また、碓ヶ関小学校においては近い将来複式学級の編成も見込まれているということでもあります。そこで資料をご用意しました。資料1をご覧ください。

平川市人口ビジョン(平成27年11月策定)一部抜粋ということで用意しました。

平成22年の平川市の人口は33,764人でございました。これが30年後の平成52年で見ますと、平川市人口ビジョンでは25,190人、国立社会保障・人口問題研究所推計値の何も人口減少対策をしなければ22,631人ということになっております。これは必ずこうなるわけではなく、あくまでも、今までの人口の増減等のデータから計算したものです。2ページをお開きください。

人口減少対策として自然減対策と社会減対策の二つを掲げております。先ほど説明した何も対策しない場合の人口は22,000人くらいとなるが、これらの対策を講じることによって25,000人くらいを維持し、それ以降も緩やかな線を維持するということです。

4ページをお開きください。碓ヶ関地域の人口について説明します。1980年は4,643人、2010年では2,842人まで人口が減少しました。これが204

0年では1, 669人まで減少すると推計されています。続いて資料2をご覧ください。

碓ヶ関小中学校の児童生徒数の推移をまとめたものになります。

資料3をお開きください。碓ヶ関小中学校の複式学級の見込みということでご説明します。

青森県の学級編成の基準として、一年生の児童を含まない場合で2個学年16人以下の場合に複式学級としております。碓ヶ関小学校では、平成29年度から3年生と4年生が複式学級になる見込みでありましたが、12月に転入生を迎えたことから、解消となりました。平成32年度をご覧ください。今のままでいくと2年生と3年生が14名ですので、平成35年度まで複式学級となることで見込まれています。

次第資料の方にお戻りください。4点目として、碓ヶ関小中学校校舎の現状についてご説明します。

碓ヶ関小学校は昭和54年の完成後38年が経過し老朽化が著しく、学校施設整備計画の中でも改築が計画されています。一方で碓ヶ関中学校は築26年でまだ使用に耐えられる状況にあるが、小学校の6教室を取れず、空き教室等はない状況であります。

5点目として碓ヶ関地域の公共施設の現状についてご説明します。

碓ヶ関地域の公共施設の現状につきましては、碓ヶ関総合支所が築40年を経過し、耐震基準を満たしていないことから、平川市支所のあり方検討委員会の中で平成30年までに碓ヶ関支所機能を碓ヶ関公民館へ移転する方向で計画が進んでおります。移転後は碓ヶ関総合支所を解体することから、跡地利用についても検討する必要があると報告されています。

6点目としてスケジュール予定(案)をご説明します。資料5をご覧ください。

碓ヶ関小中学校の改修及び改築工事ということで、平成29年から33年までをスケジュール案としております。平成29年度に小学校の耐力度調査というのを実施します。この耐力度調査は、国の補助事業の採択のための義務付けされております。この調査を実施するため、平成29年の当初予算を要求しております。国が示す「危険改築事業」の採択基準の耐力度点数を下回った場合に採択となります。来年度、耐力度調査を実施し、基準を下回っていた場合の計画としまして、平成30年には基本設計、平成31年には実施設計、平成32年からは校舎の工事に入っていきたいというスケジュール案となっております。改築の規模によっては、基本設計と実施設計の期間が短くなる場合があるということもあります。また、碓ヶ関総合支所の解体後となりますので、そちらが済んでからでなければ校舎工事には入れないということもあります。

最後の7点目として、碓ヶ関小中学校校舎改修・改築等概算工事費(案)についてご説明します。工事内容として、中学校の大規模改修と体育館の大規模改修、そして

小学校改築ということで新たに建てるということでございます。

課題及び便利性として、改築する小学校校舎を中学校に増築することで、既存小学校校舎を中学校で使用することが可能であるということと、既存小学校校舎を仮設の中学校として利用することから、引越しが終了してから大規模改修に着工することで授業等に支障がでないということを上げております。

概算の工事費として8億6,500万としており、これは小和森小学校大規模改修と平賀東小学校及び猿賀小学校の実施設計書を参考に積算いたしました。

議事1の説明につきましては以上になります。よろしく申し上げます。

市長 ただいま、学校教育課長から説明がありましたが、この説明についてご意見ご質問等ありましたらお願いします。駒井委員。

駒井委員 これまでの経緯の碓ヶ関地域教育の方向性についての意見交換会では、市議員さんをはじめ、PTA会長、校長先生などの参加ということでしたけれども、どのような意見等を述べられたのですか。

学校教育課長 小中併置にすることにつきましての打ち合わせ段階では、了承ということになりました。ただ、複式学級ということになったときに、PTAの会長さんあたりは、複式学級というのに暗いイメージがあるということが1点。また、先生が一人で二クラスを教えるということから学力の低下に繋がるのではないかと、ということが挙げられました。その対策として、学習支援員を増やして欲しいということや市で先生を採用してというような要望がありました。

もう一つには、中学校も改修して欲しいとこのことの要望でありましたので、先ほど説明したとおり、ある程度改修して小学校を併置したいと説明しております。以上です。

市長 ほかにございませんか。工藤委員何かございませんか。

工藤委員 資料2の新入学児童生徒数の表において、碓ヶ関小学校の平成18年度入学者数が19名、平成24年度の碓ヶ関中学校の入学者が24名と一致していますが、その後何年かは何名か増えている。これは先ほども言っていた転入等により増えていると認識した。ただ、平成24年度小学校入学者が8名で平成30年度中学校入学者が7名と1名の減となっている。これはどういうことか。

教委事務局長 こちらの表は平成28年5月1日時点のものであり、平成28年度分までについては、基本調査に基づく実数となっております。中学校入学者の増減については、社会的増減と捉えていただければと思います。

工藤委員 例えば、碓ヶ関小学校を卒業して、中学からは弘前市の中学に行く方もいるということですね。

教委事務局長 そういうことになります。また、逆に碓ヶ関中学校へ来るという方もいらっしゃいます。

市長 ほかにご質問、ご意見はありませんか。佐々木委員なにかございませんか。

佐々木委員 小中併置校の考え方はすごく良い考え方だと思います。説明の中で少し分からなかった点があったのですが、現在の小学校の校舎は取り壊すのですか。

学校教育課長 先ほど説明した8億6500万円の工事費概算の中には、解体費用も含まれていません。まだ解体を決めた訳ではなく、現段階での金額を出すための根拠として含めております。

佐々木委員 まだ実感もわからないのですが、すごく大きな校舎からどのような校舎になるのですか。

学校教育課長 その辺は議事2の方で説明します。

市長 葛西委員なにかありませんか。

葛西委員 5月18日の意見交換会の内容の中で、複式についても様々なご意見があったと思います。実は私の息子が複式学級を経験していて、全く問題ないのかなと思いました。普通の学級の皆さんから見ると、暗いイメージ等と捉えられると思うのですが、実際に複式学級を受けた子ども本人や、我々親からみると、全く問題ないと思います。縦割りとかいろんな考え方もありますので、全く否定するものではないと思います。

市長 ほかにご意見等はございませんか。内山委員長。

内山委員長 小学校の耐力度調査を行うとのことでしたが、調査結果により耐力度を満たしていた場合、どうするのか。

学校教育課長 耐力度調査により耐力度を満たしていた場合ですが、碓ヶ関小学校についてはこれまでも修繕という形で床の張替えなど、毎年200万円弱を修繕費として充てていました。最近も水が漏れたり、記憶にあたらしいところでは、暴風で屋根が飛んで200万弱かかっています。耐力度調査で耐力度を満たしていた場合にこのまま使うかどうかという検討は、そのときにまた検討しますが、今の状況としましてはこれだけ老朽化しているということをご理解ください。

市長 ほかにご意見等はありますか。内山委員長。

内山委員長 碓ヶ関総合支所の移転する話は確実に決まったことなのでしょうか。

市長 はい、決まっております。

学校教育課長 平成29年度に耐力度調査を実施するということでしたが、先ほどの説明でも非常に老朽化していると思われま。耐力度調査は実施しなければならないのでしょうか。

学校教育課長 国の補助の採択になるためには、耐力度調査の点数が必須となっておりますので、調査を実施するの必要はあります。中学校の改修については、耐力度調査は不要となっております。

市長 ほかにご意見、ご質問ありますか。

工藤委員 こういう議題は当然地域の人の意見だとか、あるいは保護者なりの思いを含めて、十分組み入れながら配慮していくということが大事だと思います。そういう点ではこれまでの経過なんかを見ると丁寧にすすめられていると思います。

新しく校舎が小学校と中学校、併置されたとしても複式学級は逃れられるわけでは

無い訳ですよ。そういう意味でいくと、これからも住民なり保護者なりにその方向性を含めて丁寧に説明していく機会を持つ方がいいのではないのでしょうか。

学校教育課長 5月18日に開催してから間が空いてしまいました。その時も我々最後には今後進めるにあたりまして、やはり保護者の方の意見や地域の住民の方の声、さらには議会の方の了解も得ながらということで進めていきたいと答弁しておりました。

もう少し早めにこの総合教育会議をやって、方向性を出したかったのですがけれども今日になってしまい、大変申し訳ございませんでした。そういうことを踏まえて、碓ヶ関総合支所のスケジュールと合わせて、もし複式学級を設置する場合は意見を聞きながら、ある程度取り入れながら説明会もやらなければならないということで考えております。

市長 ほかにございませんか。

(なしの声あり)

市長 無いようですので、碓ヶ関小中学校併置とすることについては調整されたものとしたしたいと思います。

学校教育課長 次に議事2 碓ヶ関小中学校の敷地の選定について事務局より説明をお願いします。次第資料の4ページをお開きください。議事2 碓ヶ関小中学校の敷地の選定についてご説明します。

碓ヶ関総合支所は、東側で敷地が碓ヶ関中学校と接しております。そしてまた、碓ヶ関総合支所解体後、その跡地に小学校部分の増設を計画した場合に教室を南側に配置できることから、採光や通風が確保され、また、駐車場の確保も可能であります。以上のことから、碓ヶ関小中学校の敷地は碓ヶ関総合支所解体後の敷地を利用したいということであります。しかし、問題もあります。現在、碓ヶ関総合支所敷地内には公用車用車庫と重機用車庫があることから、小中併置の計画を進める上で車庫移設について、今後関係課と協議が必要であるということでございます。

碓ヶ関小中学校併置校整備の基本的な考え方として3つございます。

1つ目に現中学校には空き教室が無いため、新たに整備する小学校については普通教室6クラス分を確保する。また、将来的な特別支援学級の対応や、行事やランチルームとして利用できる多目的スペースを各階に整備すること。

2つ目として、図書室、理科室、音楽室等の特別教室については基本的に中学校の教室を改修して使用することにし、椅子やテーブル他の備品等が共有できるように整備すること。

3つ目にトイレについては、職員専用トイレ、児童用トイレに多目的トイレを全て洋式で整備することであります。

なお、職員室の整備や、各クラスの配置等細かい整備内容等については今後関係機関による検討会の開催や、地域住民及び保護者への説明会の実施、市議会への報告等を行って計画を進めていきます。議事2につきましては以上になります。

市長 　　ただいま、説明がありました議事2についてご意見ご質問ありましたらお願いします。佐々木委員

佐々木委員 　　碓ヶ関総合支所移設の会議の時に、公民館の駐車場が少ないので、今の児童公園を駐車場にするという話を聞きました。そうすると碓ヶ関に公園が何も無くなります。子ども達の遊び場が何も無いので、何とかどこかに残してくださいと発言したのですが、そのときに、保育園の跡地が公園になるかなというニュアンスで答えを聞いたような気がしました。今の説明では、何も公園が出来ないことになるのでしょうか。

総務部長 　　今の意見は、支所の在り方検討委員会の時に出的意見だと思っておりました。その時は、佐々木委員がおっしゃったような検討もあるのではないかということ想定していたのですが、その後の検討により、児童公園を駐車場するという考えは無いと思います。

市長 　　葛西委員。

葛西委員 　　今中学校の先生方の駐車場というのは、診療所の裏側にあるのですか。

学校教育課長 　　先生方は現在の総合支所の駐車場と、診療所の裏側を使っております。

市長 　　駒井委員。

駒井委員 　　私は敷地の選定について、南向きに採光や通風の確保の考えでそういう方向というのは、授業する環境的にいいことだと思いました。問題になっている、車庫を移設する案に対しては、子ども達の安全面を考えると車庫の移設したほうがいいと思います。

重機といってもどの程度のものかわからないですが、学校敷地内で子ども達が通路として歩く近辺には、そういう車庫はない方がいいのかなと思います。車庫の移設先についても、どれくらい子ども達の安全性を確保できるのか検討した上でどのように建てるのかというところが決まれば、細かい計画に意見していきたいと思います。

公園に関しては、やはり地域の子どものために遊ぶ場が必要だと思うので、例えば碓ヶ関小学校が将来的に解体されるのであれば、どこかの敷地内にあればいいのかなというは、お話の中で考えさせられました。

市長 　　葛西委員。

葛西委員 　　この除雪用の重機等々とおっしゃっていましたが、今現在はこの除雪をそれでできていますか。支所の敷地内だけなのでしょうか。

総務部長 　　私も明確なことは分かりませんが、碓ヶ関地域の各路線を除雪するための重機を置いています。おそらく直営のものもあると思いますが、業者に貸付しているものもあります。

市長 　　他にご質問、ご意見ありませんか。工藤委員。

工藤委員 　　敷地としては、採光だとか風通しだとかを考えると、理想に近いなという気もします。現在の中学校の校門はどこで、増設された場合はどこに校門がくるのでしょうか。

学校教育課長 　　現在の校門は北側にあり、入って直ぐ隣が駐輪場となっております。まだ分かりませんが新しくなった時は、現在の総合支所の入口が校門になるのではないかと思います。



れます。

市長 内山委員長。

内山委員長 碓ヶ関地域の公共施設整備事業にかかる連絡調整会議が2回行われておりますが、これでかなり現実的に方向性を定めた訳でしょうか。確実に支所が移設され、小学校がここに建設するということを決定したのかどうか。

教委事務局長 連絡調整会議はそれらを決定する場ではありません。連絡調整会議は、市役所の中の横の連携を整える会議ですので、ご懸念には及びません。

他にございませんか。

(なしの声あり)

市長 ご意見が無いようですので、議事2 碓ヶ関小中学校の敷地の選定については調整されたことといたします。

市長 以上で本日の議事は全て終了いたしました。教育委員の皆さまにはたくさんのご意見等をいただき、ありがとうございました。これで総合教育会議は終了いたします。ありがとうございました。